

大番所・上番休息所、京口御門、厩、雪隠の 復元工事完成!!



4月いよいよ公開!



■左から京口御門、厩、大番所・上番休息所



■大番所・上番休息所の縁側



■大番所・上番休息所

平成13年から復元工事に着手してきました大番所・上番休息所、京口御門、厩が完成し、調度品など合わせて平成16年4月より公開を始めます。

箱根関所の中心的建物である大番所・上番休息所(おおばんしょ・かみばんきゅうそくしょ)に3月、建具の取付や復元した調度品の設置など最終工程が行われ、復元工事が完成しました。

平成14年の棟上げから約2年、いよいよ4月に一般公開となります。また京口御門、厩、雪隠も完成しました。

これからは、足軽番所、江戸口御門、遠見番所などの復元工事を進めていきます。



■大番所・上番休息所の内部 手前:面番所、奥:上の間

厩、京口御門、雪隠の復元工事完成！

うまや 「厩」

大番所・上番休息所の隣、京口御門との間にある厩は、12月中旬柱の設置や屋根葺きが始まり、その後外壁や建物内部を仕上げ、復元工事が完成しました。



■厩の内部



■厩の外観

きょうぐち ごもん 「京口御門」

京口御門は1月上旬に柱の据え付けが終わり、屋根葺きを行いました。その後、扉の取付などが行われ復元工事が完成しました。



■雪隠



■京口御門

せっちん 「雪隠」

厩の裏手にある雪隠(トイレ)の復元工事も完成しました。

幽情小噺 関所役人を悩ます乗り物



大名や公家の通行に、関所役人は頭を痛めていました。関所を通る時は、大名や公家であろうとも乗り物(籠)の戸を開け、身分をあかさなければいけないのですが、関所役人より身分の高い大名や公家などは、役人を軽視し開けずに通ることが多かったようです。どのような身分の人であっても規則を重んじる役人としては、ほとほと手を焼き「せめて少しでもいいから戸を開けてください」とお願いすることもありました。中には、箱根関所から浜松の宿まで、追いかけてお願いしたという話も残っています。

箱根関所資料館



箱根関所資料館では関所手形を始め、関所破りの記録、関所日記などの古文書や武器・武具などを展示しています。

電話:0460(3)6635

箱根町教育委員会生涯学習課箱根関所整備事業推進室 tel.0460(5)7601 <http://www.hakone-sekisho.jp>

箱根関所の復元工事など最新の情報をホームページで公開しています。

「よみがえる箱根関所」ホームページアドレス <http://www.hakone-sekisho.jp>